

金子校区の人口

男 5,790 人
 女 6,115 人
 計 11,905 人
 世帯数 5,414 世帯
 (平成 25 年 12 月末日現在)

地域交流センターだより

(ふれあい金子)



(発行所)

庄内町一丁目 14 番 7 号

地域交流センター

電話 34-6320

FAX 34-3289

E-mail

kanekou@city.niihama.ehime.jp

第 47 回にいはま春の市民文化祭について

第 47 回にいはま春の市民文化祭を次の日程で行います。ぜひご来場ください。

芸能の部

- 第 1 部 4 月 13 日 (日) 13:30~ 市民文化センター中ホール 箏曲・尺八・洋舞・ハーモニカなど
- 第 2 部 4 月 19 日 (土) 13:00~ 市民文化センター中ホール 日舞・器楽・詩吟など
- 第 3 部 4 月 20 日 (日) 13:30~ 市民文化センター中ホール 民謡・銭太鼓・和太鼓など
- 第 4 部 4 月 26 日 (土) 13:00~ 市民文化センター大ホール 器楽・民謡・洋舞など
- 第 5 部 4 月 27 日 (日) 14:00~ 市民文化センター大ホール 市民吹奏楽団

入場無料 (地域交流センター・市役所に整理券があります。整理券がなくても入場できます。)

美術の部

- 期 間 前期 4 月 10 日 (木) ~ 15 日 (火) 洋画・書道・版画・工芸 (陶芸・美術工芸・彫塑立体)
- 後期 4 月 17 日 (木) ~ 22 日 (火) 日本画・写真・文芸 (短歌・俳句・川柳)・デザイン・絵手紙・華道

入場料無料

ロビー茶会 4 月 12 日 (土) 10:30~15:00 呈茶料 250 円

場所 新居浜市立郷土美術館

* 4 月 16 日 (水) は作品入れ替えのため、展示はありません。

☆ラブ金子ふるさと探訪☆ 南中学校堤の桜

大正十三年頃、庄内の各種団体の手で二〜三年くらいの苗木を五十本程植えましたが、その後、枯れたり大水で流されたりしたので補植しました。現存するのは、南中学校庭北端のプールから南へ約五百メートル、東庄内地区に及ぶ堤防に約五十本です。毎春地域の人々の手近な花見会場として喜ばれています。

なお、この堤防と平行して河川敷広場に並んでいる約五十本の桜は、その後、市によって植えられたものです。

昔、「黄河の流れを制する者は、天下を制す。」と云う諺が、中国にありました。我が国の政治を行う者も、水を治めるための土木工事には、大変な苦勞を重ね、信玄堤を始め、各地に、工夫をこらした治水工事が多く残っています。

一つの工夫として、江戸時代には、堤防は現代のコンクリートなどがなく、しつかりした堤防を作るために、赤土を石灰やニガリで固めたタタキの芯を作り、石積みで保護しました。土を踏み固めるための方法として、堤防の土手に、桜の木を植え、花見の客を呼び集め、多くの人々に踏み固めてもらう工夫をしました。

明治・大正・昭和の戦前までは、この方法が、川や溜池の堤防に利用され、桜が多く植えられていました。戦後の土木工学では、堤防に植えた木が、台風などの強風で、ゆり動かされたり、木が枯れた時に、根が腐り空洞ができて、堤防を破壊する原因になるとする理由から、木を植えない方法が取られるようになりました。

庄内各種団体の奉仕で、国領川の土手に桜を植えたのは、堤防を丈夫にするためと、美観のためと思われる。

近年、堤防への植樹が多く見られるようになったのは土木工学の考え方が変わったことだけでなく自然環境の改善・美化など、様々な面から判断したためであるようです。